

植物保護における外来種問題を考える

日時：平成27年11月14日（土）13:00～17:30

場所：東京大学農学部2号館 化学第一教室（東京メトロ南北線「東大前」下車 徒歩2分）

主催：日本学術会議農学委員会植物保護科学分科会、植物保護科学連合（日本植物病理学会、日本応用動物昆虫学会、日本農薬学会、植物化学調節学会、日本雑草学会）



- 13:00～13:05 開会挨拶「シンポジウム開催にあたって」
上田 一郎（日本学術会議第二部会員、植物保護科学分科会委員長）
- 13:05～13:40 「日本の外来種対策について」
曾宮 和夫（環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室長）
座長：松本 宏（筑波大学生命環境系教授）
- 13:40～14:15 「わが国の農業生産を脅かす外来雑草の侵入・被害実態と対策の方向性」
黒川 俊二（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
中央農業総合研究センター生産体系研究領域主任研究員）
座長：富永 達（京都大学大学院農学研究科教授）
- 14:15～14:50 「根寄生雑草の潜在的危険性と生活環に着目した防除の試み」
杉本 幸裕（神戸大学大学院農学研究科教授）
座長：平井 伸博（京都大学大学院農学研究科教授）
- 14:50～15:25 「小笠原での除草剤による外来植物対策について」
葉山 佳代（一般社団法人小笠原環境計画研究所研究員）
座長：米山 弘一（宇都宮大学バイオサイエンス教育センター教授）
- 15:40～16:15 「わが国に分布するキウイフルーツかいよう病菌の多様性
- 外来系統の参入による複雑化 -」
澤田 宏之（国立研究開発法人農業生物資源研究所生物資源センター上級研究員）
座長：宇垣 正志（東京大学生命科学研究系教授）
- 16:15～16:50 「侵入害虫クリタマバチに対する伝統的生物的防除」
守屋 成一（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
中央農業総合研究センター病害虫研究領域専門員）
座長：後藤 千枝（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
中央農業総合研究センター病害虫研究領域長）
- 16:50～17:30 総合討論
松本 宏（日本学術会議連携会員、植物保護科学分科会副委員長）

参加費：無料

事前参加申し込み締切：10月31日（土）（当日は申し込みなしでの参加も可能ですが、できるだけ事前にメールでお申し込みください）

申込およびお問い合わせ先：筑波大学生命環境系 松本 宏

〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1

TEL/FAX 029-853-6417 E-mail: hmatsu@biol.tsukuba.ac.jp